

まるがたあんどん 丸型行灯

えどじだい たいしょうじだい
江戸時代～大正時代

しつないよう しょうめいき ぐ あぶら い とうみょうざら よ
室内用の照明器具。油を入れた「灯明皿」と呼ば
れる小皿を中に置き、油を吸い上げる役割をする
「灯芯」(イグサの繊維)をひたすか、ろうそくを置
いて火をつけます。